

2023年10月8日
10月第二主日礼拝式



「さあ手を打ち鳴らし」

(詩篇47:1 ネヘミヤ8:10)

さあ手をうちならし 主のみまえに行こう

この日は聖なる日 この日は聖なる日
主のみまえに行こう

天地を造られた 主のみまえで歌おう

この日は聖なる日 この日は聖なる日
主のみまえで歌おう

8 マジスティ

神の小羊イエスに 栄光といきおいと
知恵と力と富と ほまれと賛美をささげよう
天の栄光のみ座の前に
みんな ひれふし あがめよう
全地のすべての民よ
十字架のみわざをたたえよう

新聖歌429番 「地の塵(ちり)に等しかり」

- 1 地の塵(ちり)に等しかり 何一つ取りえなし
今あるはただ主の 愛に生くるわれぞ
* 御救いを受けし 罪人に過ぎず
されどわれ 人に伝えん 恵み深きイエスを
- 2 罪の世(よ)を望みなく 幾年(いくとせ)か迷いしを
ただ君が愛もて 救いませるわれぞ * (くりかえし)
- 3 もし恵み無(な)かりせば はや滅び果てしならん
あるはただ罪のみ 功績(いさおし)なきわれぞ *
- 4 されば世(よ)にある限り 主を歌い 主を伝えん
滅びよりいのちに 移されたるわれは *

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌117番 「栄えの主イエスの」

- 1 栄えの主イエスの 十字架を仰(あお)げば
世の富(とみ) 誉(ほま)れは 塵(ちり)にぞ等(ひと)しき
- 2 十字架の他(ほか)には 誇(ほこ)りはあらざれ
この世のものみな 消えなば消え去れ
- 3 見よ 主の御頭(みかしら) 御手 御足(みあし)よりぞ
恵みと悲しみ こもごも流るる
- 4 恵みと悲しみ 一つに溶(と)け合い
茨(いばら)はまばゆき 冠(かむり)と輝く
- 5 ああ主の恵み 報(むく)ゆる術(すべ)なし
ただ身と魂(たま)とを 献げてぬかずく アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン